

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成24年11月29日(2012.11.29)

【公開番号】特開2010-176452(P2010-176452A)

【公開日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-032

【出願番号】特願2009-19180(P2009-19180)

【国際特許分類】

G 06 F 9/50 (2006.01)

G 01 C 21/26 (2006.01)

G 08 G 1/09 (2006.01)

【F I】

G 06 F 9/46 4 6 5 D

G 01 C 21/00 A

G 08 G 1/09 F

G 08 G 1/09 H

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

前記第1及び第2情報処理装置と通信可能なサーバ装置を備え、

前記第1情報処理装置は、前記依頼希望処理を依頼する前において、前記サーバ装置に対して、前記問い合わせの発行先の第2情報処理装置の選定要求を行う選定要求手段を更に備え、

前記サーバ装置は、前記選定要求を受けた場合に、前記依頼希望処理の実行期間にわたって、前記特定移動体と通信可能な距離にある少なくとも1つの他移動体に搭載される第2情報処理装置を選定し、選定結果を前記第1情報処理装置に対して報告する選定手段を備える、

ことを特徴とする請求項1～4のいずれか一項に記載の情報処理分散システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

前記第1情報処理装置は、前記依頼希望処理の実行期間にわたって、前記特定移動体と通信可能な距離にある少なくとも1つの他移動体に搭載される第2情報処理装置を、前記問い合わせの発行先の第2情報処理装置として選定する選定手段を更に備える、ことを特徴とする請求項1～4のいずれか一項に記載の情報処理分散システム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

移動体に搭載され、前記移動体とは異なる少なくとも1つの他移動体に搭載された他情報処理装置と近距離無線通信が可能な情報処理装置であって、

情報処理の一部を、実行を依頼したい依頼希望処理として抽出する抽出手段と；

前記依頼希望処理の実行期間にわたって、前記近距離無線通信が可能な前記移動体との距離を維持可能であると推定される他移動体に搭載された前記他情報処理装置に対して、前記依頼希望処理が実行可能であるか否かの問い合わせを行う問い合わせ手段と；

前記問い合わせに対する応答として肯定的な回答を受けた場合に、前記肯定的な回答を行った他情報処理装置に対して、前記依頼希望処理の実行依頼を行う実行依頼手段と；

前記実行依頼を受けた他情報処理装置から返送された前記依頼希望処理の実行結果を参照して、前記情報処理の実行結果を導出する導出手段と；

を備えることを特徴とする情報処理装置。